

設置説明書

この機器の設置には資格が必要です。

食 器 洗 い 乾 燥 機

型 式

RSW-F403CWM



JW0033-835×01 (00)
240900

(工場管理)

07000008002180

Rinnai

1	安全上のご注意	1	9	試運転前の点検	21
2	各部の名称および寸法図	3	10	試運転	22
3	同梱部品の確認	4	11	異常報知について	23
4	事前作業	5	12	下部扉昇降機構・下面材の取り付け	24
5	設置場所について	6	13	けこみ取付調節ねじとけこみカバーの取り付け	27
6	電気工事	8	14	冷却排水の設定	29
7	配管工事	9	15	お客様への説明	29
8	設置	12	16	幅45cm フロントオープンタイプの食器洗い乾燥機からの変更工事(例)	30

設置される方へのお願い

- この機器を正しく安全にご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みになり、法律に基づいて指定された設置を行ってください。
- 配管工事はすべて、水道法、建築基準法、各都市の条例規定に準じてください。
- 設置が完了したら「9 試運転前の点検」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 試運転終了後、止水栓を開いたままにしておいてください。また長期間使用しない場合は、安全のため家屋の元水栓を閉めてください。また配電盤のブレーカは OFF にしないでください。

1 安全上のご注意

この設置説明書では製品を正しく設置をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されることを表しています。



注意

この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が軽傷を負う可能性が想定される、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な注意（警告含む）



一般的な禁止



必ず行う



アース線の接続

- ◎設置完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

警告

お客様へ

■据え付けはお買い上げの販売店、または専門業者に依頼する

ご自分で据え付けをされ不備があると水漏れや感電・火災の原因になります。



⚠ 警告

設置される方へ

■アースを確実に取り付ける

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- アースの取り付けは販売店にご相談ください。



■定格15A のコンセントを単独で使用する

他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。



■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分の場合、感電や発火の原因になります。



■機器は水平器を用いて、水平で安定した場所に設置する

万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる可能性があります。



⚠ 注意

設置される方へ

■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



■交流100V 以外では使用しない

火災・感電の原因となります。



■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



■設置部品は必ず付属品および指定部品を使用する

当社指定部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因になります。



■製品の移動や据え付け時は手袋をして作業を行う

万一のけが防止のためです。



■給湯（給水）、排水配管の端面はバリのないよう処理する。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除く

配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。



■凍結のおそれがある場所（室温 0℃以下）へは設置しない

水漏れの原因になります。



■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する

主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。



■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



■設置および試運転終了後、配電盤のブレーカは OFF にしない

ブレーカが OFF になっていると、万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる可能性があります。



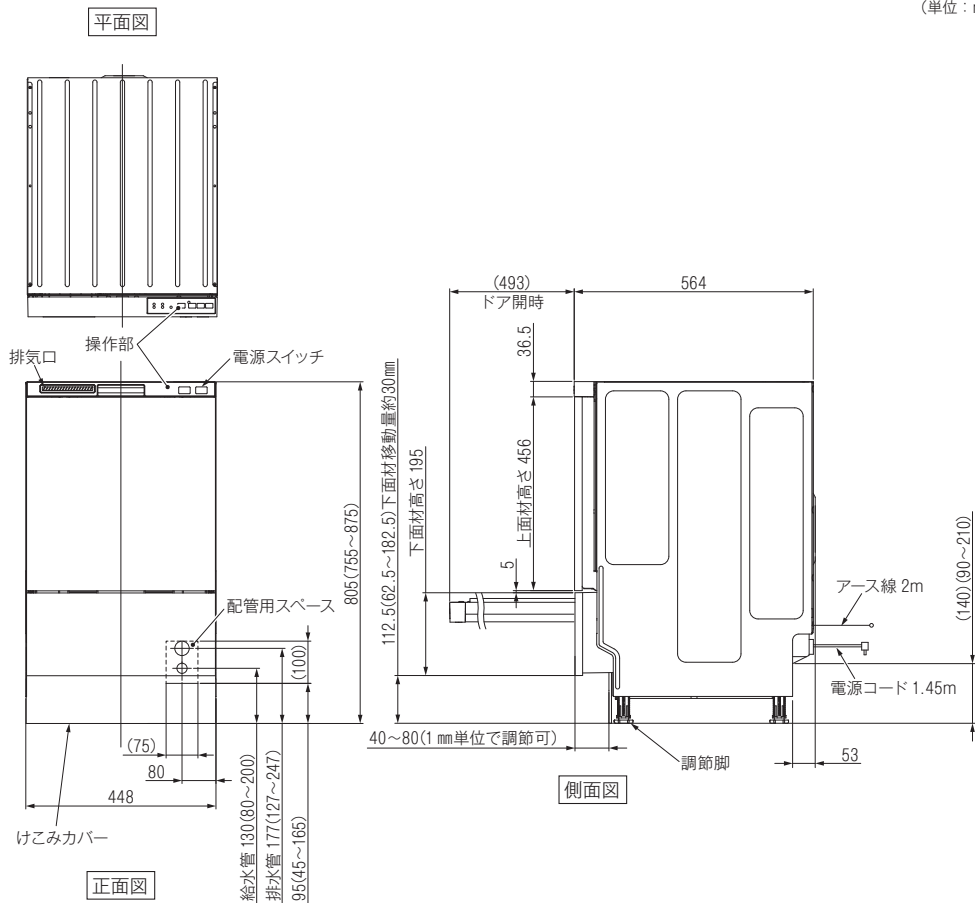
■元付け型の浄水器に接続しない

元付け型の浄水器に接続した場合、残留塩素濃度が0.1ppm 未満となり屋内に給水される水が細菌などに汚染されるおそれがあります。※水道法の基準は0.1ppm 以上



2 各部の名称および寸法図

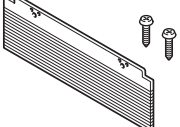
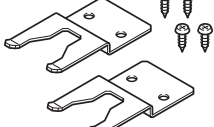
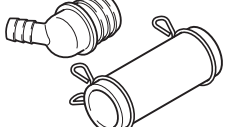
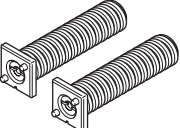
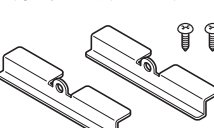
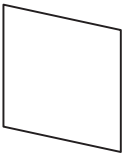
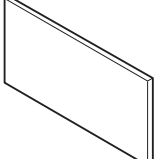
(単位：mm)

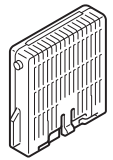
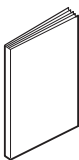
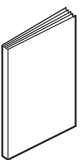


(図1)

3 同梱部品の確認

●設置を始める前に部品・付属品の不足がないか確認してください。

設置時に必要な部品			
○けこみカバー（1個） ○タッピンネジ（2本）（黒色） 〔呼び径4×長さ20mm〕 	○移動防止金具A（1個） ○タッピンネジ（2本） 〔呼び径4×長さ12mm〕  （予備が2本入っています）	○転倒防止金具（2個） ○タッピンネジ（4本） 〔呼び径5×長さ16mm〕 	○接続ジョイント （ホース、ソケット、 ホースバンド（2個）のセット） 
○けこみ取付調節ねじ（2個） 	○移動防止金具前（2個） ○タッピンネジ（2本） 〔呼び径4×長さ8mm〕 	○型紙（1枚）  （本体上部にあります）	○フィルター付パッキン（1個）  ※フィルター付パッキンは給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っています。
○下面材 			

付属品			
○銀イオンカートリッジ  （下かごに取り付けてあります）	○専用洗剤（試供品） 	○取扱説明書（保証書付） 	○設置説明書 

●輸送のため、各部品にあて紙や梱包部材、輸送用固定テープがあるので、全部取り除いてください。

4 事前作業

フロントオープンタイプの食器洗い乾燥機の取りはずし

- 既に設置されている幅45cmフロントオープンタイプの食器洗い乾燥機を取りはずしてください。
- ※製造メーカー、型式によって配管工事（給水、排水）、電気工事の方法が異なります。
- ※15 幅 45cm フロントオープンタイプの食器洗い乾燥機からの変更工事（例）を参照して作業してください。

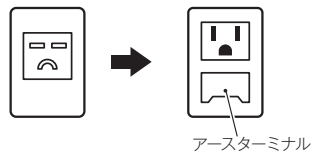
作業内容

- ①給水管および排水管を改造してください。

製造メーカー、型式によって必要です。

- ②電源を確認し、変更してください。

買い替え食器洗い乾燥機の電源は100Vです。取りはずす機器の電源が200Vの場合は電源を100Vに変更し、125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを取り付けてください。（図2）



（図2）

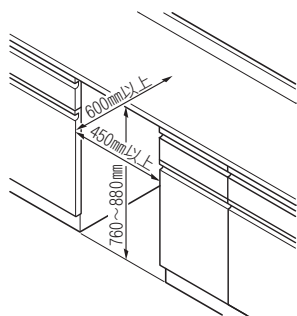
5 設置場所について

1 設置場所の確認

1. ビルトインスペースの確認

※奥行き寸法は、機器の前面より600mm以上必要です。

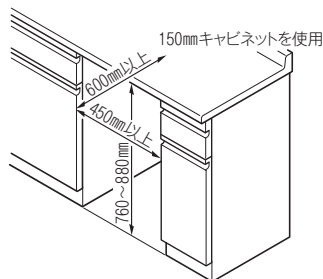
中間にビルトインする場合



(図 3)

片側がフリーの場合

●片側がフリーの場合、幅150mm キャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



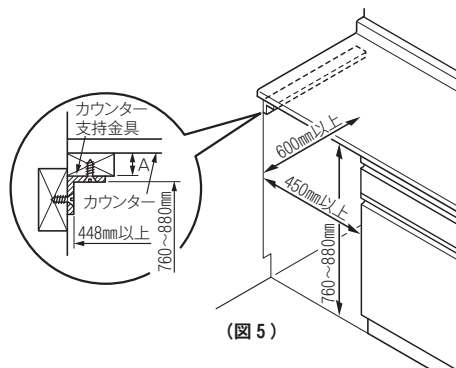
(図 4)

片側が壁面または、トルユニットの場合

●カウンター支持金具は市販のL金具を使用します。

※締結ねじの長さは、右図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。(図5) 法令(電気設備の技術基準の解釈)により義務づけられています。

●ビルトイン型加熱機器などと並べて設置すると、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがあります。市販のL金具を使用して補強処置を施してください。



(図 5)

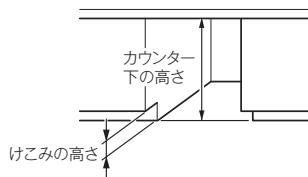
2. 本体高さ寸法の確認

●本体の高さを、カウンター下の高さより5mm低い寸法にします。

例) カウンター下の高さ810mmの場合

本体高さ寸法 $810 - 5 = 805$ (mm)

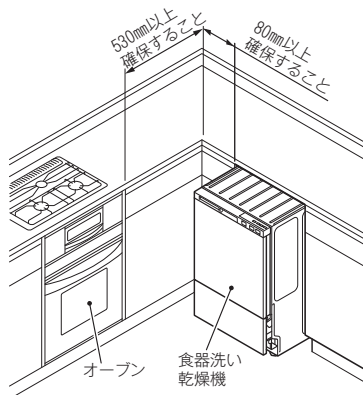
※本体高さの調整範囲は755~875mmです。



(図 6)

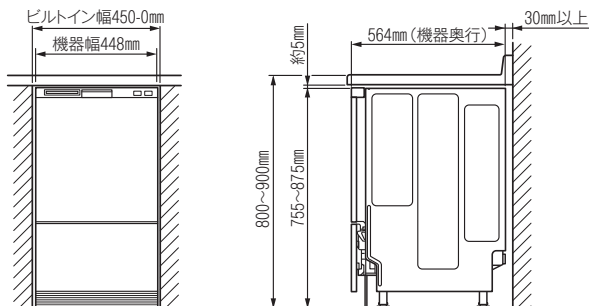
お願い

- L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオープン取っ手の取っ手に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますので、ドア開閉のスペースを確保してください。(図7)



(図7)

- 機器本体と可燃性のカウンター下面とは約5mm^{*}、後面は30mm以上離して設置してください。(図8)
- ※本体上面にねじがあるので、必ず2mm以上確保してください。

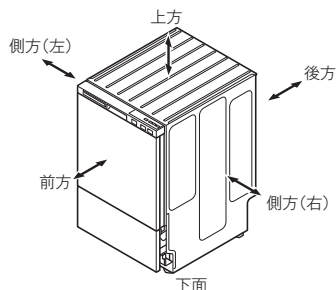


(図8)

※本体の金属部品が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。法令（電気設備の技術基準の解釈）により義務づけられています。

- この食器洗い乾燥機は「消防法告示第一号（対象火気設備などおよび火気器具などの離隔距離に関する基準）」に適合しております。
建築物の可燃物などからの離隔距離は以下の表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	—	0

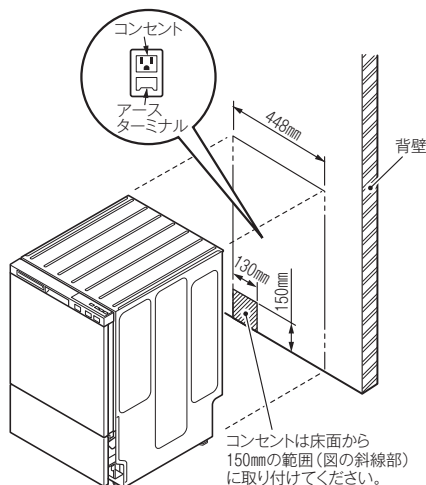


6 電気工事

1 電源の確認

■工事はすべて電気設備技術基準に準じて行ってください

- 電源回路は100V、15Aの専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水工事部分を選じた位置（図9）に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。
（コンセントは125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを設けてください。）
- 本体の電源（電圧、周波数）表示は銘板に示しています。
（図43）



（図9）

⚠ 警告

■15Aのコンセントを単独で使用する

他の機器と併用したり、容量以下のものは、異常発熱して発火の原因になります。



⚠ 注意

■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する

主幹に漏電しゃ断器が設けられている場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。
漏電しゃ断器は、住宅分電盤用小型漏電ブレーカー（定格電流15A、感度電流15mA）をご使用ください。



2 アースについて

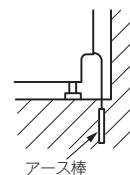
- 市販のアース棒を使用される場合、アース工事は必ず買い上げの販売店が電気工事店にご依頼ください。
（電気工事士の有資格者がD種（第3種）接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令などで禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
（アース工事は有料ですのでご了承ください。）

アースターミナル付埋め込みコンセントの場合



（図10）

アース棒を使用の場合



（図11）

⚠ 警告

■アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しない

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース確認

7 配管工事

1 配管工事

給湯・給水工事、排水工事例

■本機は配管直結タイプですので設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めは正確に行ってください

- 温泉水や地下水や井戸水で使用すると、水質によっては機器内配管に異物が付着するなど、耐久性を損なうことがありますので、機器に接続しないでください。
- 給湯管は給湯用塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用してください。
- 配管工事が図14～17の寸法になっているか確認してください。（必ず床上に、この寸法で配管してください。）
- 排水配管は呼び径以上のものを使用してください。かつ曲折部は90°ベンド、45°ベンドを使用してください。
- 給湯（給水）、排水配管の端面は、バリのないよう処理してください。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。
- 排水本管に至るまでの接続部品（図示していない）も耐熱塩ビを使い、配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 本機が使用できる水道圧力は0.03～1 MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6 kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2 kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠ 注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因になります。

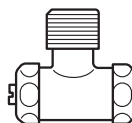


■70℃以上のお湯が供給される給湯（水）栓への配管には接続しない

故障の原因になります。

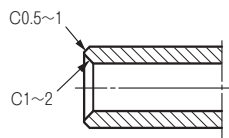


- ドライバー式アングル型止水栓を必ず取り付けてください。（止水栓は閉じた状態にしておいてください。）（図12）



（図12）

- 排水管 HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。外径外面側は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。（図13）



（図13）

給湯器の確認

- 給湯接続の場合は10号以上のガス給湯器、石油給湯器、中型以上の深夜電力利用温水器などで70℃未満の温度に調整可能な機器に接続してください。

⚠ 注意

■元止め式ガス湯沸器、小型深夜電力利用温水器からの配管は絶対しない



■特に高水圧地域（0.6MPa（6 kgf/cm²）以上）では給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付けて0.2MPa（2 kgf/cm²）程度に減圧する



- 本機は本体高さ寸法により給湯（給水）管（B 寸法）・排水管（A 寸法）の床面からの高さに対応可能な配管方法が変わります。下表を参照して高さを決定してください。

キッチン奥行寸法 (L)	60~64cm	65~74cm	75cm以上
床立上げ配管	イ	ア・(イ)	ア・(イ)
壁出しの配管	ウ	ウ	ウ
床ころがしの配管	—	—	エ

パネル前面より排水管前端までの距離
・推奨：145～165mm
・接続ジョイント取付可能範囲：145～690mm
※排水管前端までの距離については接続ジョイント（550mm）があるので690mm まで対応しています。

(単位：mm)

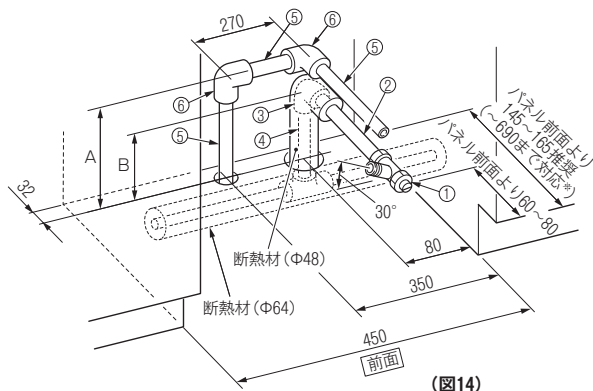
本体高さ		755	760	765	770	775	780	785	790	795	800	805	810	815	820	825	830	835	840	845	850	855	860	865	870	875
床立上げ配管、壁出しの配管	A寸法	127	132	137	142	147	152	157	162	167	172	177	182	187	192	197	202	207	212	217	222	227	232	237	242	247
床ころがしの配管 (図14~17)	B寸法	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170	175	180	185	190	195	200
奥行60cm 時の	C寸法	87	87	87	92	97	102	107	112	117	122	127	132	137	142	147	152	157	162	167	172	177	182	187	192	197
床立上げ配管 (図15)	D寸法	50	50	50	50	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150

食器洗い乾燥機設置キャビネット内での配管例

- 下記配管例以外の施工をする場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

(単位：mm)

ア) 床立上げの配管例 キッチン奥行65cm 以上の場合

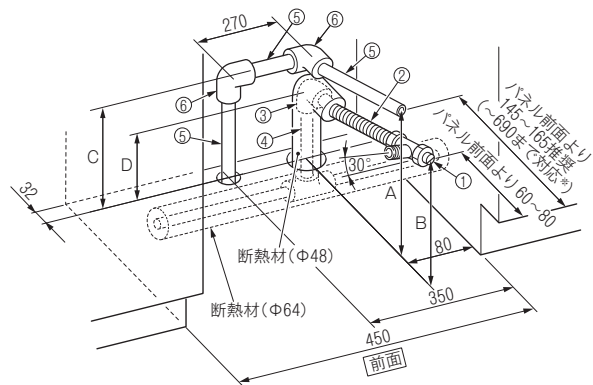


(図14)

給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ① ドライバー式アングル型止水栓
- ② 硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2エルボ
- ④ 硬質塩化ビニルライニング鋼管排水（耐熱塩ビ使用のこと）
- ⑤ HT20
- ⑥ HT20エルボ

イ) 床立上げの配管例 キッチン奥行60~64cm の場合



(図15)

給水（給湯の場合は耐熱配管）

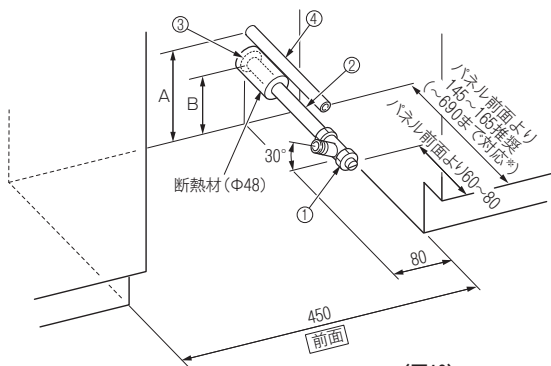
- ① ドライバー式アングル型止水栓
- ② フレキシブル管（1/2）
- ③ Rc1/2エルボ
- ④ 硬質塩化ビニルライニング鋼管排水（耐熱塩ビ使用のこと）
- ⑤ HT20
- ⑥ HT20エルボ

- 本体高さ755～765mm の場合は、排水管との接触部の断熱材が5 mm 程度へこみます。

- キッチン奥行65cm 以上の場合でもこの配管は可能です。

ウ) 壁出しの配管例

(单位: mm)



(圖16)

給水（給湯の場合は耐熱配管）

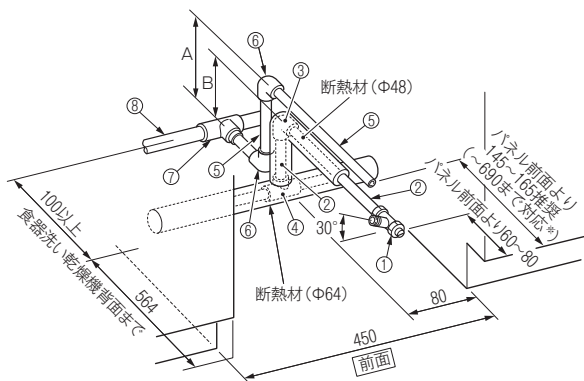
- ①ドライバー式アングル型止水栓
②硬質塩化ビニルライニング鋼管
③ Rc1/2ソケット

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ④ HT20

エ) 床ころがしの配管例 キッチン奥行75cmの場合

※キッチン奥行L=750mm または水切りによって壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能です。



(圖17)

給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ①ドライバー式アングル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2エルボ
- ④チーズ

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ⑤ HT20
⑥ HT20エルボ
⑦ HT40×20チーズ
⑧ VP40

●本機が使用できる水道圧力は0.03～1 MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6 kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2 kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠ 注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

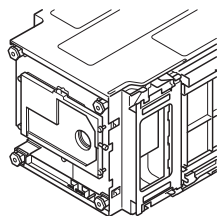
水漏れの原因になります。



8 設 置

1 本体の高さ調節

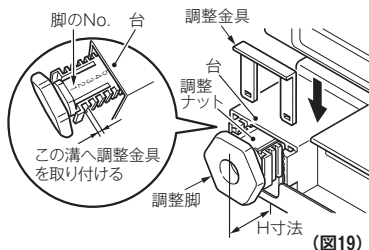
- 本機は本体の高さを調節します。
13ページの表1を参照して高さを調整してください。
 - ①庫内の付属品および食器かご（下）、残菜フィルターなどを取り出してください。
 - ②**本体の側面を下にして底面を手前にしてください。**（図18）
 - ③本体の高さを調整してください。
- ※本機は4カ所の調整ナットにワンタッチで高さ調整ができる調整金具が付いています。



（図18）

本体高さ755mm～810mmの場合

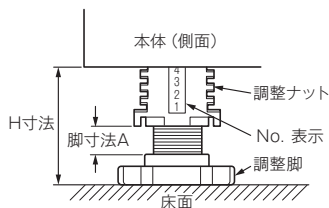
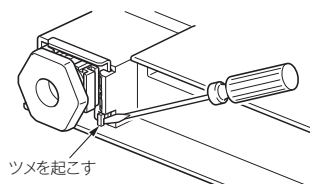
- 調整金具を抜き、表1の調整ナットのNo.の位置に高さを合わせ、調整金具を差し込んでください。（図19）



（図19）

本体高さ815mm～875mmの場合

- 調整金具を抜き、調整ナットのNo.が13の位置に高さを合わせ、調整金具を差し込んでください。（図19、20）
- 次に調整脚を回転させ、表1の脚寸法分を引き上げてください。（図20）
- ※H寸法はけこみ寸法ではなく、床面から本体側面下までの寸法です。
- ※調整金具の着脱は○ドライバーやプライヤーを使用すると容易に作業できます。
- ※調節脚の高さが4本とも同じになっていることを必ず確認してください。



（図20）

⚠ 注意

■調節脚の高さを調整し、本体を水平にする

ドアが左右に片寄り、ドアの干渉、開閉時の異音、水漏れの原因になることがあります。

■床の不陸などにより左右キャビネットにスペーサーなどで調整している場合は、その分本体を高くしてください

左右扉との上下位置が合わなくなります。



1 本体の高さ調節

(単位：mm)

本体高さ	755	760	765	770	775	780	785	790	795	800	805	810	815
調整ナット No.	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	13
脚寸法 A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
H寸法	13.5	18.5	23.5	28.5	33.5	38.5	43.5	48.5	53.5	58.5	63.5	68.5	73.5
本体高さ	820	825	830	835	840	845	850	855	860	865	870	875	
調整ナット No.	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
脚寸法 A	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	
H寸法	78.5	83.5	88.5	93.5	98.5	103.5	108.5	113.5	118.5	123.5	128.5	133.5	

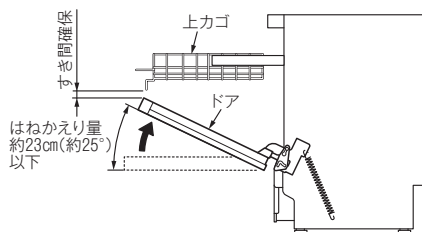
(表1)

④調節が終了したら本体を元に戻し、食器かご（下）、残菜フィルターなどを取り付けてください。

2 ドアはねかえりの調整

①ドアのはねかえり量を確認します。

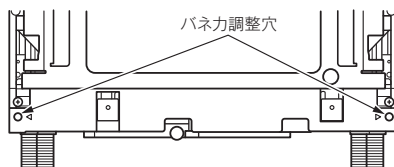
- 上面材の厚みや重さによって、ドアの全開位置から手を離したときにはねかえり量が異なります。約23cm（約25°）以下で止まることを確認してください。また、ドアが開いたときに衝撃がないことを確認してください。目安は、上カゴを引き出したときに上カゴとドアがぶつからない程度です。（図21）



(図21)

②ドアの「はねかえり量が小さい」「衝撃が強い」「はねかえり量が多い」場合などはバネ力を調整してください。

- 機器の下部左右2カ所にバネ力調整穴があります。約12cm奥に調整用ねじがあり、軸長13cm以上のドライバーを使って調整します。（図22）

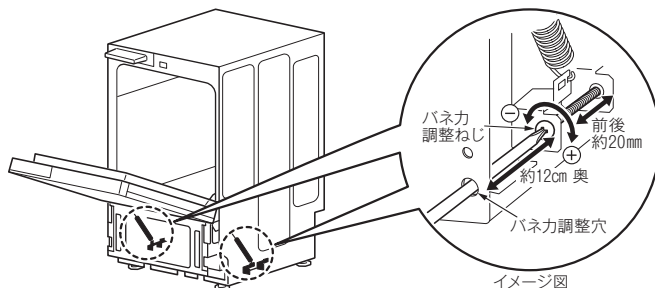


(図22)

- バネ力調整ねじを時計回りに回すとはねかえり量が大きくなり、反時計回りに回すとはねかえり量が小さくなります。前後約20mmの間でバネ力を調整できます。（図23）

※上面材の重さは2kg以上3kg以内です。

上面材の重量によっては、はねかえり量を調整できない場合があります。2.5kg以下の場合、はねかえり量が多くなります。



(図23)

⚠ 注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



3 型紙の取り付けとマーキング

①面材の厚みは16mmです。面材厚みによって、型紙を合わせる位置が異なります。(図24)

左右方向

●型紙の中心線をキャビネットの中心に合わせます。

※キャビネット側板と型紙端面のすき間が左右同じになるように合わせてください。

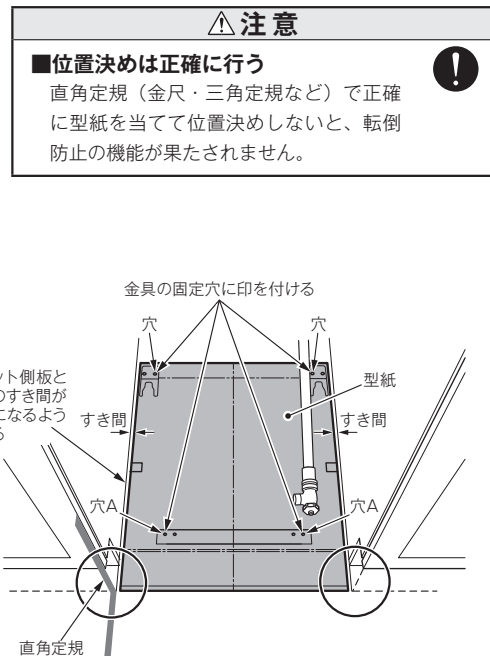
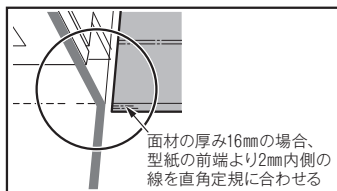
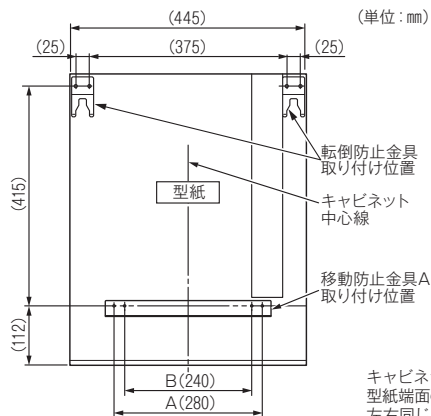
前後方向

●直角定規（金尺・三角定規など）をキャビネット前面に当てます。

●面材厚み16mm：型紙の前端より2mm内側にある線を直角定規に合わせます。

②型紙をテープで固定します。

※型紙は給・排水管に当たる箇所を切り欠いてください。



(図24)

⚠ 注意

■位置決めは正確に行う

直角定規（金尺・三角定規など）で正確に型紙を当てて位置決めしないと、転倒防止の機能が果たされません。



③型紙の転倒防止金具の穴位置（2カ所×2）に目印をキリやボンチで付けてください。

④型紙の移動防止金具の穴位置A（2カ所）に目印をキリやボンチで付けてください。

※穴位置Aで取り付けできない場合は、穴位置Bを使ってください。

⑤型紙をはずしてください。

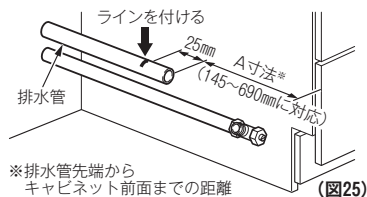
⑥転倒防止金具を両面テープなどで仮固定し、本体をビルトインし、上扉と隣接キャビネットの扉の前後位置が合うことを確認してください。

合わない場合は、転倒防止金具および移動防止金具の前後位置を調整してください。

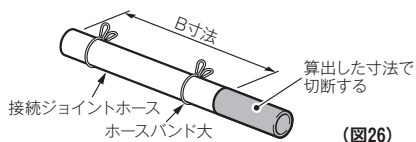
4 接続ジョイントの切断

■給・排水接続工事と接続ジョイントの接続は、設備業者様にて実施をお願い致します

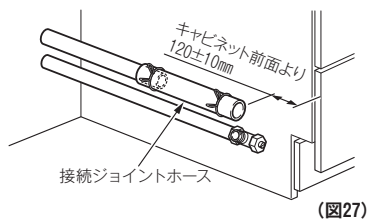
- ①排水管（HT20）の先端から25mm のところに目印のラインを付けます。
- ②排水管（HT20）先端からキャビネット前面までの距離 A 寸法を測定してください。（図25）



- ③接続ジョイントホースを下記のいずれかの方法で切断してください。ホースバンド大は必ずずらずらしてください。接続ジョイントホースの全長は550mm です。切断後のジョイントホース長さ（B 寸法）は、必ず50mm 以上確保してください。
- ア）以下の計算式で算出した寸法で切断してください。（図26）



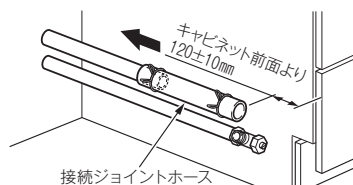
- ホース全長 $B \text{ 寸法} = (A \text{ 寸法} + 25) - 120 \text{ (mm)}$
- ※120mm：接続ジョイントホースを接続したときのキャビネット前面よりホースの先端位置
- 25mm：①で付けた目印（ホースを差し込む寸法）
- イ）接続ジョイントホースを排水管に25mm 差し込んだ状態で、キャビネット前面よりホースの先端が120±10mm になる位置で切断してください。（図27）



5 ソケットの取り付け

- ①排水管（HT20）に接続ジョイントホースを25mm ラインまで挿し込み、ホースバンド大をつまみが左側になるようにずらして固定してください。（図28）

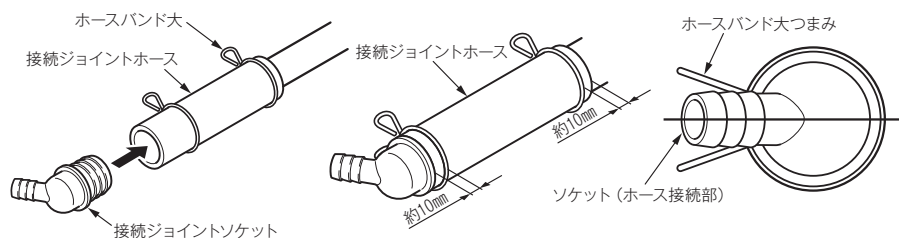
接続ジョイントホースの前端が、キャビネット前面から120±10mm の位置に合っているか確認してください。



(図28)

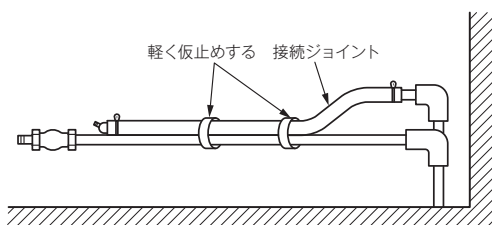
- ②接続ジョイントホースに接続ジョイントソケットを挿し込み、ホース接続部の向きが正面から見て左側を向いて水平になるようずらして調整してください。（図29）

- ③ホースバンド大のつまみの向きを2個とも左側にして固定してください。（図29）



(図29)

- ④ビルトイン作業時に接続ジョイントがたれ下がって機器に通しにくい場合は、接続ジョイントを給湯（給水）管にテープで仮止めしてください。（図30）



(図30)

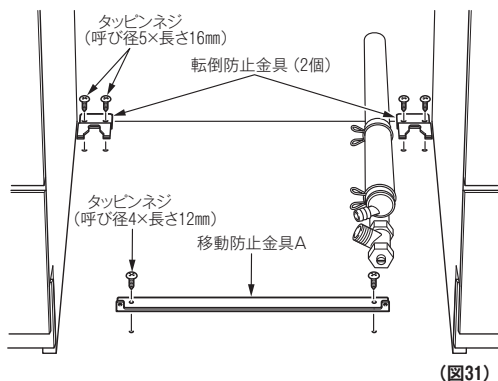
6 金具の取り付け

①型紙を使って付けた目印の位置に、転倒防止金具（2個）と移動防止金具 A を取り付けてください。（図31）

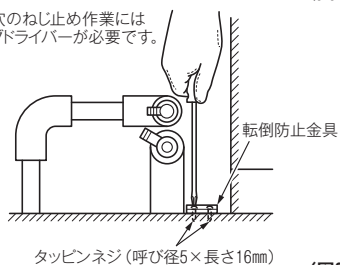
●転倒防止金具は 4 本のタッピンネジ（呼び径 5 × 長さ 16mm）で固定してください。（図32）

※排水管があるので、ドライバーの軸の長さは約 30cm のものを使ってください。

●移動防止金具 A は 2 本のタッピンネジ（呼び径 4 × 長さ 12mm）で固定してください。



※この穴のねじ止め作業には
ロングドライバーが必要です。



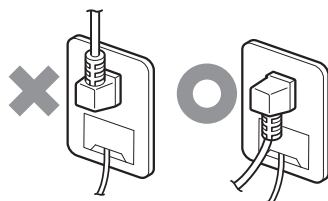
7 電源コード・アース線の接続

- ①電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- ②アース線をアースターミナルに接続してください。

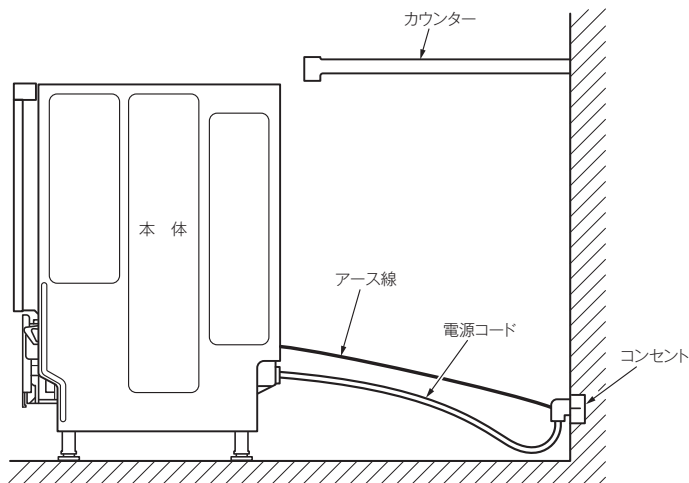
⚠ 注意

■電源プラグはコードが下方向に出るようコンセントに差し込む

コードが上方向に出ますと、機器をビルトインしたとき、コードが傷つくことがあります。



(図33)



(図34)

⚠ 警告

■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。



⚠ 注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。



■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

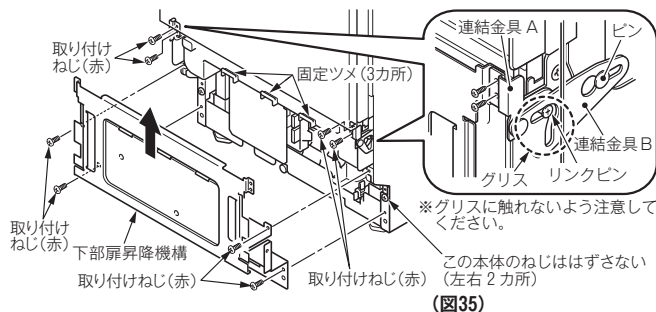


8 下部扉昇降機構の取りはずし

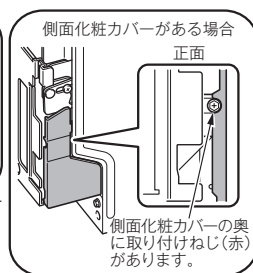
- ①設置に必要な部品を水槽内から取り出してください。
- ②下部扉昇降機構の取り付けねじ（赤色 8 本）をはずし、下部扉昇降機構を上側にスライドさせ固定ツメ 3 か所をはずしてください。（図35）

⚠ 注意

■下部扉昇降機構をはずしたときは、本体を倒したり、ドアを45°以上開けない
連結金具Aやリンクピンを破損するおそれがあります。また、連結金具Bがピンよりはずれることがあります。（連結金具A・Bについては、24ページの図47参照）



(図35)



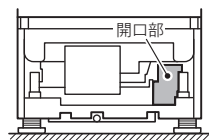
9 本体のビルトイン

本体のビルトイン

- ①隣接する機器などに注意し、給湯（給水）管、排水ホースの先を開口部から挿入するようにして、本体の下方をゆっくりと押し込んでください。

お願い

- 床面の凹凸で調整脚のすべりが悪くスムーズに挿入できないときは、無理やり押さないでください。
- ※脚が変形するおそれがあります。床面を養生するなど、配慮してください。



(図36)

⚠ 注意

■給・排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない
給・排水不良の原因になります。



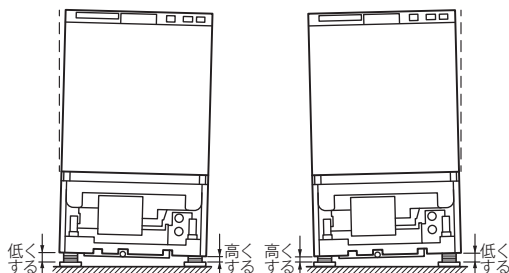
- ②本体をビルトインした状態で、ドアの左右の片寄りを確認してください。
- ドアの片寄りがある場合、ドアの干渉、開閉時の異音、水漏れの原因になることがあるため、調節脚を調節してください。

ドアの片寄りの調整

- 片寄りの方向によって前側の脚高さを調節します。本体の前面を少し持ち上げ、脚の下部を回して調節してください。（図37）

右側へ片寄っている場合

左側へ片寄っている場合



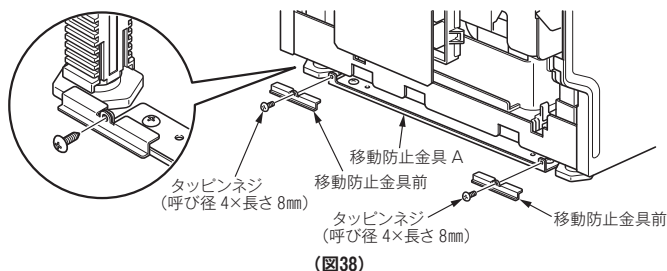
(図37)

※床面を傷つけないよう注意してください。

- 前後の傾き、上下位置の微調整も前側の脚高さにて調節してください。

10 移動防止金具の取り付け

- 移動防止金具前をタッピンネジ（呼び径 4 × 長さ 8 mm）で移動防止金具 A に固定してください。
※移動防止金具前は左右共通です。



※図38は見やすくするため、水槽など一部の部品を省略しています。

11 給水（給湯）管との接続

■給・排水接続工事については、設備業者様にて実施をお願いします

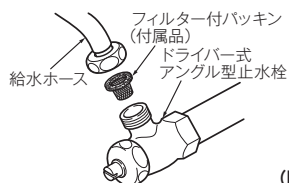
- ①給水ホース（本体）をドライバー式アングル型止水栓に確実に接続してください。（図39）

（フィルター付バック金の向きに注意）

- ※必要以上に強く締め付けますと、バック金が破れますので注意してください。

お願い

- ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。
- ※適正な締め付けトルクは 5 ～ 10 N · m（50 ～ 100 kgf · cm）です。



(図39)

⚠ 注意

■フィルター付バック金は必ず所定の位置に取り付ける

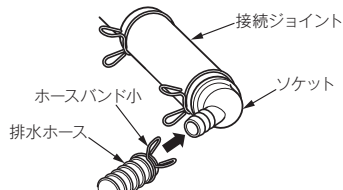


12 排水ホースとの接続

- 接続ジョイントソケットと排水ホースを接続します。排水ホースは、ソケットに奥まで差し込みます。（図40）

ホースバンド小は排水ホース端から約10mm までずらして取り付けます。

この時、排水ホースは給湯（給水）管や、給水ホースの上を通るように配管してください。（図41）



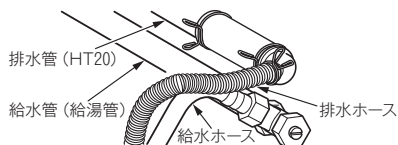
(図40)

配管の収まり図

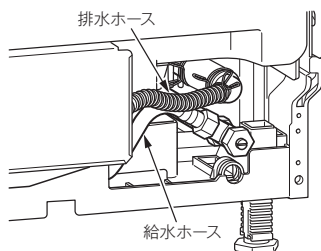
- 給水ホースと排水ホースが台本体の前面より前に出て下面材部品に接触しないように配管してください。（図42）
- 排水ホースと給水ホースが極端に折れ曲がっていないか確認してください。

⚠ 注意

■排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない
水漏れの原因になります。



(図41)



(図42)

9 試運転前の点検

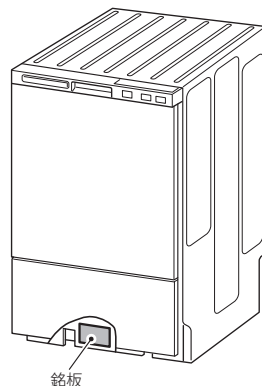
チェックリスト				
点 検		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機 器 の お よ び 辺	電 源 (電圧)	銘板表示と使用電源が適合していますか。	8 ページ	
	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	7 ページ	
	転 倒 防 止 金 具 移 動 防 止 金 具	転倒防止金具および移動防止金具は取り付けましたか。	14ページ 17ページ 20ページ	
	同 梱 部 品	部品の不足はありませんか。また正しく取り付けられていますか。 梱包部材、固定用テープは取り除きましたか。	4 ページ	
給 排 水 接 続 (給水・排水)	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	9 ページ	
	フィルター付バッキン	給水ホースと止水栓との接続部にフィルター付バッキンを挿入しましたか。	20ページ	
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	20ページ	
電 気 接 続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15A のアースターミナル付埋め込みコンセントに接続しましたか。	8 ページ	
		アース線を接続しましたか。	8 ページ	

※点検・修理の際には製造番号の確認が必要になることがあります。

製造番号は、銘板またはあんしん点検銘板に表示してあります。

〈銘 板〉

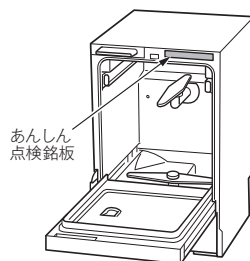
食器洗い乾燥機			
定格電圧	100V		
周波数	50/60Hz		
電動機定格消費電力	130/170W		
ヒータ定格消費電力	800W		
製造番号		PS E	
製造者 リンナイ株式会社			
型式		JQA	
ⓈJ W W A		消防法 基準適合 組込型	
認証登録番号 B-6		可燃物からの離隔距離 (cm)	
RN(O)		上方	側方 前方 後方



銘板

〈あんしん点検銘板〉

品名コード:		
型式:		
製造年月:	年 月	
製造番号:		



あんしん
点検銘板

(図43)

10 試運転

※試運転の前に必ず他の水栓より数リットルの水を流して、配管内のさびなどを流してください。

■試運転を行ってください。なお、次の手順で試運転を行うと短時間で終わることができます

- ①止水栓を開きます。
- ②ドアを開いて食器かご、小物入れを水槽内から取り出します。
※試運転の時に配管内のさびが食器かごに付着するおそれがあるためです。
 回転ノズルや残菜フィルターの輸送用固定テープ、梱包部材を取り除きます。
- ③「電源」スイッチを押して電源を「入」にしてから「切」にします。(リセットします。)
- ④「予約」スイッチを押しながら、「電源」スイッチを押します。(このときブザーが「ビピッ」と鳴ります。また、7セグに「5 U」が点滅して表示されます。)
- ⑤ドアを閉じます。
- ⑥「スタート/一時停止」スイッチを押してください。(「試運転」コースが開始し、「5 U」表示が点灯に変わります。約5分間で終了します。)

(上面操作部)



「予約」スイッチ

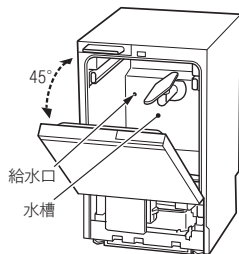
(前面操作部)



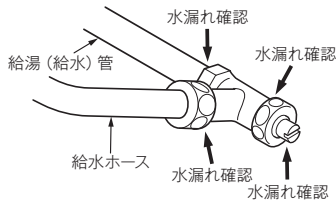
「スタート/一時停止」スイッチ

「電源」スイッチ

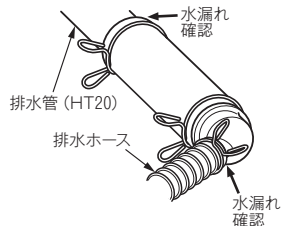
- ⑦次の確認を行ってください。
- 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら水槽内のノズルが回転します。ノズルが回転しているか確認してください。
 (噴射音：バシャバシャ音が聞こえるか確認してください。)
- ※試運転は、運転が終了するまで確実に行ってください。途中で停止させないでください。
- ※試運転が15分以上かかる場合は、フィルター付バックインに異物が付着している可能性があります。フィルター付バックインをはずして掃除してください。
- ※運転中に次ページの異常報知が表示された場合は、表示内容に対応した処置を行ってください。



(図44)



(図45)



(図46)

- 運転が終了するとブザーが鳴り、電源が「切」になりますので、運転終了を確認後、ドアを45°まで開けてください。
 (水槽内の水が排水されていることを確認してください。また運転中、給・排水接続部からの水漏れがないことを充分確認してください。)
- 電源が「切」の状態、ドアを45°まで開き、水槽内の給水口から水が出ていないことを確認してください。
- ⑧食器かご、小物入れを元どおりセットしてください。
- ⑨試運転終了後、止水栓を開いたままにしておいてください。また、長期間使用しない場合は、万が一の水漏れを防止するため、家屋の元水栓を閉めてください。

11 異常報知について

●試運転時に停止した場合は、ブザーが鳴って、前面操作部に数字が表示されます。下記内容を確認してください。

表 示	原 因	処 置
16	過熱防止センサー作動	●庫内温度異常です。高温の水を給湯した時などにも起こります。 ●しばらく待って再使用時に同じ現象が出る場合は、部品が故障しています。至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
17・18	水検知センサー作動	●センサーに水が付着し作動しました。製造上の検査での残水分が付着し反応する場合があります。 ●機器内へ水漏れしたおそれがあります。給水と排水接続部を確認してください。また、本体下部底板に水がたまっていないか、手前にある水抜き栓を抜いて確認してください。 ●配管接続部の漏れがなく、しばらく待って再使用時に同じ現象が出る場合は、水道栓（元栓またはキャビネット内の止水栓）を閉めてください。 ・至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ・配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
24	スイッチの作動不良	●電源スイッチとスタート／一時停止スイッチが ON され続けた場合に作動します。スイッチが押されていないか確認してください。 ●電源を切ってください。再使用時に同じ現象が出る場合は、部品が故障しています。至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
28	水位センサーの作動不良	●水位センサーの作動不良です。一時的な作動不良の場合があります。 ●再使用時に同じ現象が出る場合は、部品が故障しています。至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
50	ヒーターの作動不良 排水不良	●ヒーターの作動不良です。また、排水不良で作動する場合があります。 ●排水ホースが極端に折れ曲がっていないか、つまりがないか、ホースの長さが適切に切断されて収まっているか確認してください。 ●排水ホースを修正しても、再使用時に同じ現象が出る場合は、部品が故障しています。至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
26・56 57・60	水位センサー作動 給水不良 排水不良	●水位センサーの作動不良、給水不良、排水不良の場合に作動します。 ・水位センサーの作動不良です。一時的な作動不良の場合があります。 ・給水不良の場合は、給水されていない、給水が極端に少ない場合に作動します。閉栓や断水、水道の分岐併用による水量低下、給水ホースの折れ、給水接続部のフィルター付パッキンの閉塞などが原因です。 ・排水不良の場合は、排水ホースが極端に折れ曲がっていないか、つまりがないか、ホースの長さが適切に切断されて収まっているか、また、残菜フィルターのつまりや閉塞がないか確認してください。 ●電源を「切」にして、水道元栓およびキャビネット内の止水栓は必ず開栓してください。また、上記原因を除去してください。 ●再使用時に同じ現象が出る場合は、部品が故障しています。至急お買い上げの販売店にご連絡ください。

表 示	原 因	処 置
31・43 62・70 71・72	電子部品の故障	●再使用時に同じ現象が出る場合は、至急お買い上げの販売店にご連絡ください。

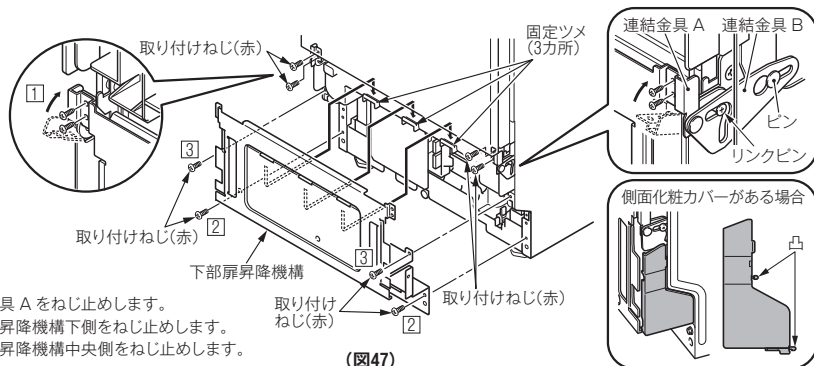
12 下部扉昇降機構・下面材の取り付け

1 下部扉昇降機構の取り付け

①図35ではずした下部扉昇降機構の穴に水槽下の固定ツメ 3カ所を挿入し、下部扉昇降機構を上側にスライドして、取り付けねじ（赤色 8 本）で固定してください。（図47）

※連結金具Bにはグリスを塗付しています。グリスに触れないよう注意してください。

※側面化粧カバーがある場合は、側面化粧カバーの凸が下部扉昇降機構に差し込まれていることを確認してください。また、側面化粧カバー上部は連結金具Bの外側にくるように取り付けてください。



(図47)

⚠ 注意

■連結金具Aはまっすぐに取り付け
連結金具Aの下方が開かないようにねじ止めてください。



■連結金具Bがピンからはずれていないことを確認する



■水槽下固定ツメ 3カ所すべてが下部扉昇降機構の穴に挿入されていることを確認する

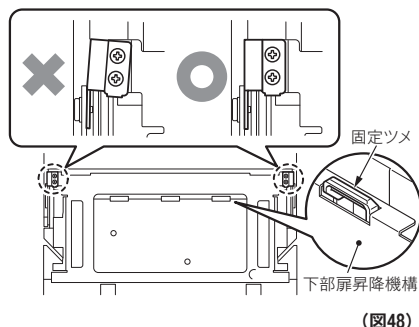


ツメが挿入されていないと、下面材を取り付けたときに、上面材より 5 mm ほど手前に出て段差ができるおそれがあります。

■電動ドライバーは使用しないで手締めする



ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



(図48)

2 下面材の取り付け

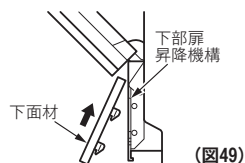
① ドアを約45°開いてください。

② ドアを約45°開いた状態で、ドア下部にある下部扉昇降機構の取付穴（4カ所）に下面材金具固定ツメを挿入します。（図50）

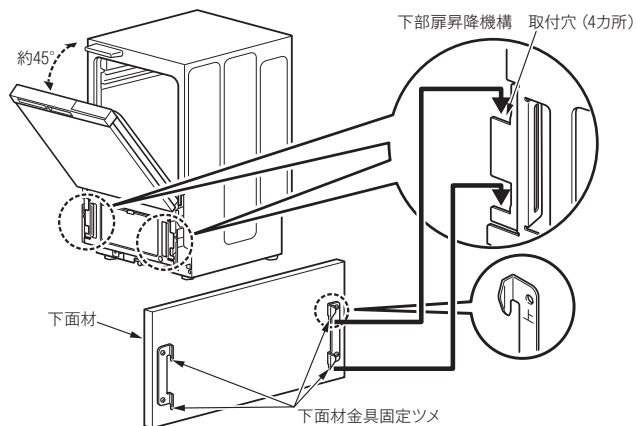
※ 下面材金具の上表示を上側にして、下面材を取り付けてください。

※ 開いたドア下部のすき間に、下面材をすべり込ませるように上方にスライドさせて取り付けます。（図49）

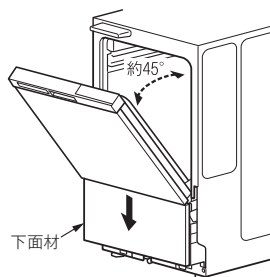
そのまま下方にスライドさせ、取り付けてください。（図51）



（図49）



（図50）



（図51）

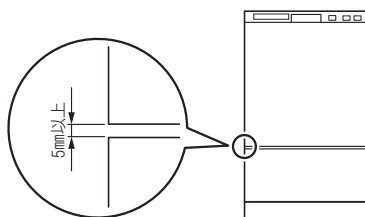
③ ドアが閉じた状態で上面材と下面材のすき間が5 mm 確保されているか確認します。（図52）

④ ドアが閉じた状態で下面材を上面材に当たるまで持ち上げてから手前に引き、下面材が手前にはずれないことを確認してください。

⑤ 下面材が傾いていないか、隣のキャビネットと干渉していないか確認してください。

すき間が異なっていたり傾きがある場合は、下面材金具固定ツメのかかりや金具の位置を調整してください。

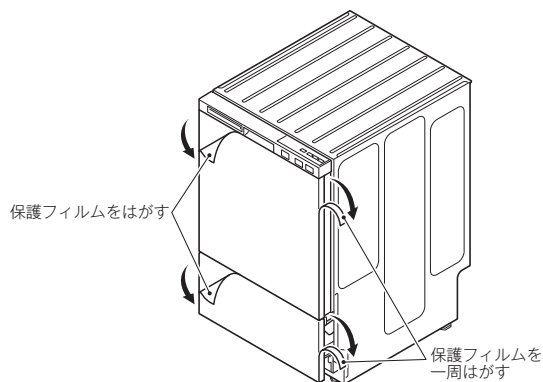
● 調整後は、上面材と下面材のすき間が5 mm 以上になっているか確認してください。



（図52）

3 保護フィルムの取りはずし

- 上面材と下面材の表面と側面に貼られている保護フィルムをはがしてください。(図53)
このとき、ドア前面に貼付されている用紙は処分せず、用紙記載の指示に従って作業してください。



(図53)

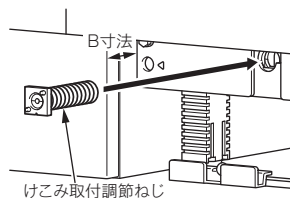
⚠ 注意

■ 保護フィルムをはがす際に製品を傷つけない



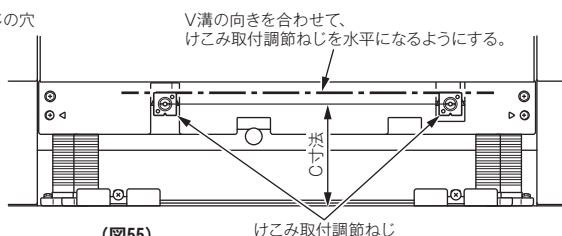
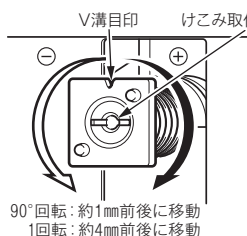
1 けこみ取付調節ねじの取り付け

- ①けこみ取付調節ねじを本体下両側穴にねじ込みます。
- ②本体下からキャビネットのけこみまでの B 寸法を測定します。
- ③左右のけこみ取付調節ねじ出寸法は、B 寸法 -3mm（けこみカバーの厚み）に調整してけこみの表面と位置を合わせてください。（図54）



(図54)

- けこみ取付調節ねじは出寸法は4～50mm まで調節可能で、時計回りで手前に移動し、半時計回りで奥に移動します。出寸法は、90°回転させると約1mm、1回転させると約4mm 前後に移動します。
- けこみ取付調節ねじ前面にV溝があるので、目印にして左右の向きを合わせ、前面の四角の一边が水平になるようにします。（図55）
- 床面からけこみ取付調節ねじの穴までの高さ（C 寸法）を測定します。（図55）



(図55)

けこみ取付調節ねじ

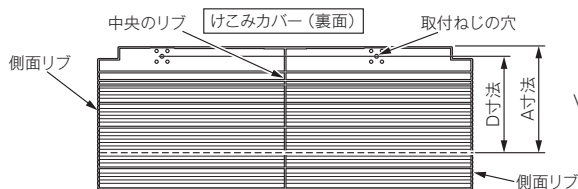
2 けこみカバーの加工

- ①けこみカバーをカウンター高さに合わせて切断します。
- カウンター高さに合わせて、けこみカバーの長さを以下の寸法に切断します。
または前項で測定した C 寸法に合わせて、取付ねじの穴から D 寸法の V 溝で切断します。

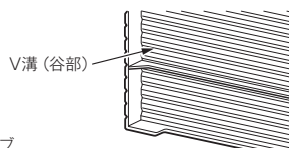
(単位: mm)

本体高さ	875	870	865	860	855	850	845	840	835	830	825	820	815	810	805	800	795	790	785	780	775	770	765	760	755
けこみカバー高さ A	170	165	160	155	150	145	140	135	130	125	120	115	110	105	100	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50

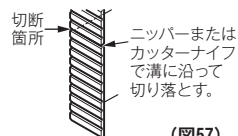
※けこみカバーを上表寸法で加工すると、けこみカバー下端と床の間には約3mm のすき間があきます。



(図56)



- 裏面の左右側面と中央のリブを、ニッパーまたは カッターナイフで切ります。（図57）
- V溝（谷部）にカッターナイフの刃先を押し当て、数回引き切断してください。



(図57)

⚠ 注意

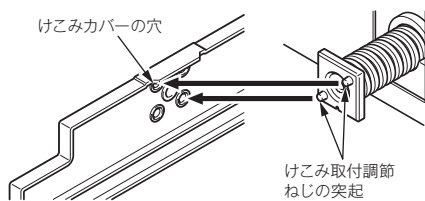
■カッターナイフなどでの切断作業時には、必ず手袋を着用する

十分注意して作業してください。また、切断部分をやすりなどで仕上げ、エッジなどを取り除いてください。けがの原因になります。



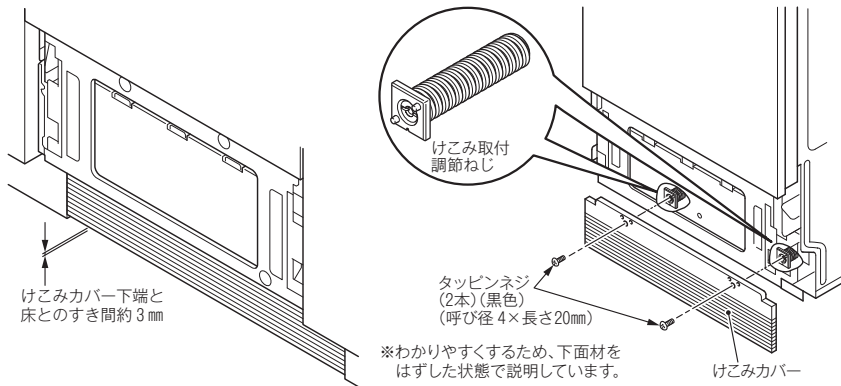
3 けこみカバーの取り付け

- ①けこみ取付調節ねじの突起2カ所を、けこみカバーの裏面の穴に挿入して取り付けます。(図58)
- キャビネットのけこみとけこみカバー表面の前後位置が合っているか確認します。
- ずれている場合は、けこみ取付調節ねじの出寸法を再度調整します。



(図58)

- ②けこみ取付調節ねじの突起がけこみカバーの穴からはずれないようにおさえながら、2本のタッピンネジ（呼び径4×長さ20mm）をドライバーで締めて固定してください。(図59)
- ※おさえが弱いとねじと一緒にけこみ取付調節ねじが回転して、出寸法が変化します。



(図59)

⚠ 注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



4 点検

■作業終了後確認してください

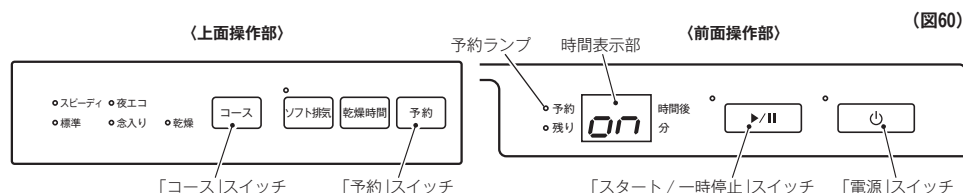
- ①ドアを開閉して、異音・すれ・下面材との干渉がないか？
- ②下面材がスムーズに動き、はずれや傾きなどないか？
- ③上面材と下面材の表面の前後位置が大きくずれていないか？
- ④けこみカバーが傾いていないか、ガタツキはないか？
- 不具合がある場合は、設置説明書通りに取り付けられているか確認したうえで、取り付け直してください。

14 冷却排水の設定

●排水管が耐熱仕様ではない場合に、冷却排水の設定をしてください。(本管に至るまでの枝管が VP 管の場合など)

設定方法

- ①「電源」スイッチを押して、「切」にします。
- ②ドアを開けます。
- ③「スタート／一時停止」スイッチ、「コース」スイッチを押し、さらに「電源」スイッチを3つ同時に押します。
- ④ブザーが「ビピッ」と鳴り、時間表示部に「88」が点滅したら、スイッチを離します。
- ⑤「88」の点滅状態で「予約」スイッチを5秒間押し続けると、あり／なしが設定できます。
 冷却排水設定あり：時間表示部「on」表示・ブザー「ビビビビビッ」・予約ランプ点灯
 冷却排水設定なし：時間表示部「oF」表示・ブザー「ビビッ」・予約ランプ消灯
- ※「on」／「oF」は約5秒後に消え、「88」の点滅状態に戻ります。その状態でも、予約ランプの点灯／消灯で冷却排水の設定状態が確認できます。
- ⑥「電源」スイッチを押して、「切」にします。



※工場出荷時の設定は、冷却排水なしになっています。

設定を変更するには、上記作業を再度行います。

(このときブザーが「ビピッ」と鳴り、予約ランプが消灯します。)

15 お客様への説明

■設置事業者様へ

- 取扱説明書にそって、使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」をよく説明してください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って、「保証・サービス」について説明してください。

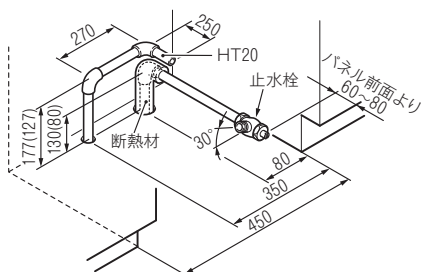
■お客様への取り扱い説明

- ①取扱説明書にそって機器の取り扱いを説明してください。
- ②水槽内に食器がご、小物入れが入っていることを確認してください。
- ③保証書に必要事項を記入のうえ、保管をお願いしてください。

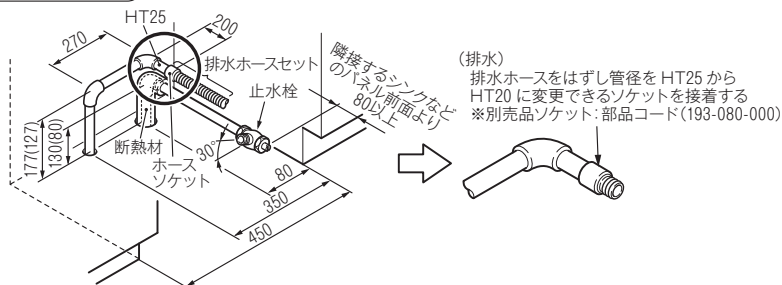
※キッチン奥行60cmの場合は、以下の配管は使用できません。10ページの工事例のように修正してください。

(パナソニック品) の場合

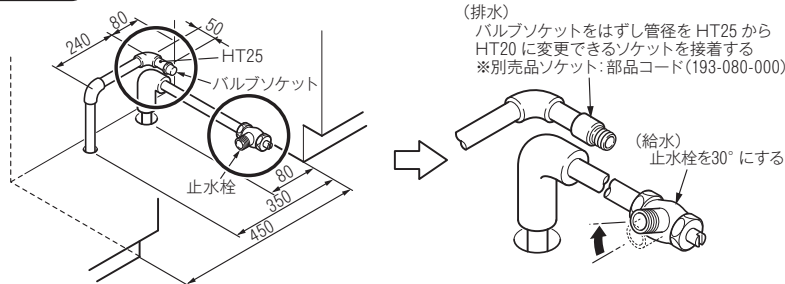
◎変更工事は必要ありません。



(ハーマン品) の場合

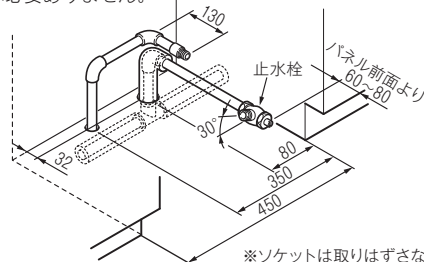


(日立品) の場合



(リンナイ品) の場合

◎変更工事は必要ありません。



※ソケットは取りはずさないで、そのまま利用してください。

●排水管については、配管の位置変更などできない場合に、別売品の排水ホース延長キット（KWP-F403HK）を使用して接続できる場合もあります。お買い上げの販売店、または専門業者にお問い合わせください。

